

発行： 年 月 日
氏名： さん

入会のしおり



むこきんろうしゃさんがくかい
武庫勤労者山岳会

〒661-0025 尼崎市立花町4-8-16 古川文化201

HP <http://mukorousan.sakura.ne.jp/wp/>

mail address mukomail@mail.goo.ne.jp

● はじめに

武庫勤労者山岳会(武庫労山)の新しい仲間となられる方へ。

わたしたちは、あなたの入会をこころから歓迎します。

会の運営は、すべての会員の参加と協力で行っています。

会員ひとりひとりが主人公です。今日からちからを合わせ、すばらしい山登りをしようではありませんか。いろいろな面で助け合い、明日からの生活を豊かなものにしていきましょう。

● 勤労者山岳会(労山)について

労山は豊かで質の高い登山をめざしています。

労山は1960年、「勤労者山岳会」の名称で設立され、63年には日本勤労者山岳連盟へと発展しました。

労山の考え方は(1)登山はすぐれたスポーツ文化であり、憲法で保障された国民の権利である(2)登山の多様な発展を目指す(3)海外登山の普及と発展をはかる(4)遭難事故の防止につとめる(5)限りある自然を守り、後世に残す—の5つからなり、そのひとつひとつのとりくみは、日本の登山運動にとって重要な活動になっています。各都道府県の地域、職場、学園に労山加盟の山の会やハイキングクラブがあり、会員みんなの創意で自主的に運営され、山行や定期的な例会が活発に行われています。

各クラブは、その所在地によって、全国47都道府県毎に組織されている地方連盟に所属しています。

労山は、遭難対策事業の一環として、労山基金(労山山岳事故対策基金)を運営しています。労山会員の寄付によって運営する、会員のための山岳遭難救済制度です。救助・捜索やケガ、急病などの登山中の事故を救済対象とします。

● 武庫労山について

1960年4月に全国名誉会長の伊藤正一氏らの呼びかけで「勤労者山岳会」がスタートしました。やがて全国に同じ「勤労者」という名を持つ山岳会を生み出し、1963年7月に全国組織として「日本勤労者山岳会連盟」が結成されました。

兵庫県でも、同年9月に西宮の仲間が全国連盟に加入し、県下でただひとつの労山として活動していました。1965年8月に上高地で「第1回登山の祭典」と「第2回全国連盟総会」が開かれ17労山をはじめ、これから労山をつくる意欲に燃えた各地の代表70名が参加し、「全国に数百の労山、2万人の会員を！」という方針がだされ、画期的な集いとなりました。この祭典に参加した西宮の仲間の励ましと援助をうけ、尼崎での「労山」発足の準備が進められました。5回の準備会と4回の山行によって1966年2月15日に「尼崎勤労者山岳会」が誕生しました。

つづいて「宝塚」「神戸」でも労山が誕生し、同年4月には全国で3番目の県連盟として「兵庫県勤労者山岳会連盟」が結成されました。

「武庫勤労者山岳会」は、尼崎に複数の労山を！という声のもと、東西二つのブロックに分かれて活動していた「尼崎労山」の西の仲間が、1972年6月25日に分離独立して立花地区に誕生し、現在に至っています。

東ブロックは、現在「尼崎山の会」として活動しています。

近年、ますます勤労者の健全なレクリエーションとして、登山やハイキングがさかんになっています。登山は健康を増進し、生活や文化を豊かにするために、社会のさまざまな事柄とつながりを持って今後も発展していきます。働く人たちで山が好きな仲間が力を合わせ“安く、楽しく、安全な登山、自然を守ろう”をスローガンに、こころとからだを向上するための山岳会を目指しています。

● 会の組織と運営

わたしたちの会組織は、「武庫労山会規約」にしたがって活動しています。会員の活動は、年1回開催する全員参加の総会で、1年間の活動方針を決議し、その方針に基づいて、三役と運営委員会を中心に運営を行っています。会での活動を目的に合ったものにするために、ハイキング部と山行部を設けていますので、いずれかもしくは両方(でも可)に入部してください。さらに充実した取り組みが行えるよう各種専門部・専門委員会が設置されています、そちらのいずれかにも所属をお願いします。また、運営を円滑にするために事務局や安全対策委員会などの部門が協力して活動しています。

あたらしく会員になられた方も、是非会の運営に積極的に参加し、早く会になれるとともに、ご活躍されるよう願っています。

● 各部の紹介 武庫労山の組織図は議案書を参照ください。

総会・・・会員は総会に属する。毎年6月に全員参加の総会が開催される。

三役会議・・・会長・副会長・事務局長から組織される。

運営委員会・・・水曜日に開催、運営・活動に関する決議を行っている。

事務局・・・会の運営に必要な事務全般を担っている。

安全対策委員会・・・安全な登山のためのガイドライン等を発行。

ハイキング部・・・近郊の日帰り登山、高山の山小屋泊登山、市民ハイキングなど。

山行部・・・テント泊縦走、登攀、沢登、雪山・スキー、雪山入門講座、岩登り教室など。

組織部・・・会員の円滑な活動の補助、入会の案内

機関誌部・・・季刊誌「チロル」の発行。会の活動や会員の紹介などを掲載。

自然保護部・・・クリーンハイク、労山の森草刈等のボランティア

兵庫労山全体で進めている「兵庫の山からゴミを一掃する運動」の一環として、隔月第1日曜日に仁川で清掃活動を行っています。

六甲全山縦走実行委員会・・・兵庫県連で開催される大会の運営他。

夏山登山スクール実行委員会・・・一般募集の夏山登山スクールの運営。

● 会活動の目的

会では、ハイキング、尾根歩き、岩登り、沢登り、積雪期の登山など山のあらゆる分野でより楽しく、より安全な登山を求めると共に、会員ひとりひとりがすばらしい岳人、すぐれたリーダーへと成長するよう努めると共に、多くの仲間と山のすばらしさと自然を愛するところを伝え広げていきます。

そして、身体を鍛え、こころから信頼しあえる仲間をつくる中で、全国の仲間と共に「働くものの登山」とはどういうものかを考え追求していきます。

● 山行について

安全対策委員会では、各種のガイドラインを設けています。安全で楽しい登山をするために、山行規定を設けていますので、参照して有意義な山行にしてください。

【 山行の種類 】

1. 例会山行 …… 山行部例会、ハイキング部例会、市民ハイキング、クリーンハイク、夏山登山スクール、雪山入門講座、岩登り教室など会の行事として計画・実施する山行。
2. 合宿山行 …… 春(5月)、秋(9～11月・集中山行)、冬(12～1月)に実施、会の最も主要な山行と位置づけ取り組む山行。
3. 企画山行 …… 上記以外の山行。会員が自主的に計画して行う山行。計画する際は、運営委員会・安全対策委員会に相談し、指導を受ける。

【 ガイドライン 】

- ・「山行、ハイキング」難易度表示のガイドライン
- ・「山行とトレーニング」のガイドライン
- ・「山に持っていく医薬品」のガイドライン
- ・「自家用車使用」のガイドライン
- ・「ヒヤリハット&事故」のガイドライン
- ・「事故・遭難時の緊急連絡方法と救助体勢」のガイドライン

● 計画書について

会で統一した形式の計画書を用意しています。計画書を作成することで事前の準備を万端にし、安全で楽しい山行にしましょう。また山行後の報告書をまとめる習慣をつけることで次回の活動の指標になります。

計画書は、日帰り山行は1週間前に、宿泊山行は2週間前に事務局に提出し、水曜日に開催される運営委員会で査収を受けましょう。

特に、ルートに覚えがある六甲山等の居住区に近い日帰り山行については、前日・当日の山行連絡も認められています。

過信することなく計画的な登山をこころがけましょう。

● チロルの掲載

機関誌「チロル」への積極的な投稿をお願い致します。

B5サイズ:余白はタテヨコ20mm。文字サイズは12ポイント。

原稿の送り先 機関誌部担当者[]宛、

● ホームページへの掲載

山行の記録を残しましょう。画像・文章などの掲載が可能です。

各会員専用のIDの取得をしてください。HP委員会担当者[]宛

● 講習会参加費補助制度

会員の資質向上を目指し、学習会の受講料や参加費を補助する制度があります。兵庫県連主催の無線・気象・救助などの講習会がありますので積極的に参加し技術を磨いてください。

● 登山時報

全国連盟の機関紙「登山時報」が 毎月1回発行されています。

定価 3,120円/年(年間購読割引) お申込みは事務局まで

● 会費について

入会金 1,000円 会費 月額 1,000円 (活動開始は、1日～)

毎年6月に 1年分(7～6月)か 半年分(7～12月、次の半年分は12月に)
をお支払ください。

入会時は、次回6月活動分までの月額x月数分になります。

例) 3月～の場合=1,000x4ヶ月、 11月～の場合=1,000x8ヶ月

● 保険加入

山行での事故はあってはならないことです。それでも、準備をしておくことが必要です。勤労者山岳会連盟で運営している労山基金というものがありますので、加入するか、同等の山岳保険に加入してください。

労山基金 例 ハイキングのみならば3口(円/年)、宿泊を伴う場合は、
5口、雪山・岩登りに参加する人は10口(円/年)

● 個人情報について

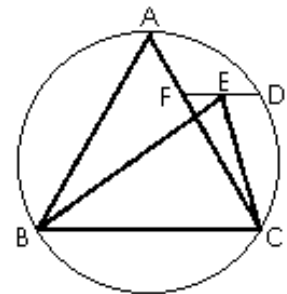
会では、個人情報を会活動以外で使うことはありません。

但し、山行計画書には、住所や電話番号、緊急連絡先などを記載します。
会員相互の理解の元、会員名簿を発行し総会で共有しています。



労山マーク 誕生エピソード

私(名誉会長伊藤正一氏)が、山川勇一氏のアトリエを訪ねた時、
現在使われている図を示し、高い山は銀色、低い山は銅色にし、
「高い山も低い山も登ろう」と言った。私(伊藤氏)は、小さなバッジは
色が鮮明な方が良く、「雪のある高い山も、樹木のある低い山も
登ろう」という意味を込め、白色と紺色にすることを提案したのです。



△ABCは正三角形。
AD=DC、FE=ED
FDとBCは平行

さあ、たくさんの仲間と共に、楽しく安全な労山ライフをはじめましょう！

武庫勤労者山岳会 入会のしおり

2022.07.01 編集発行分